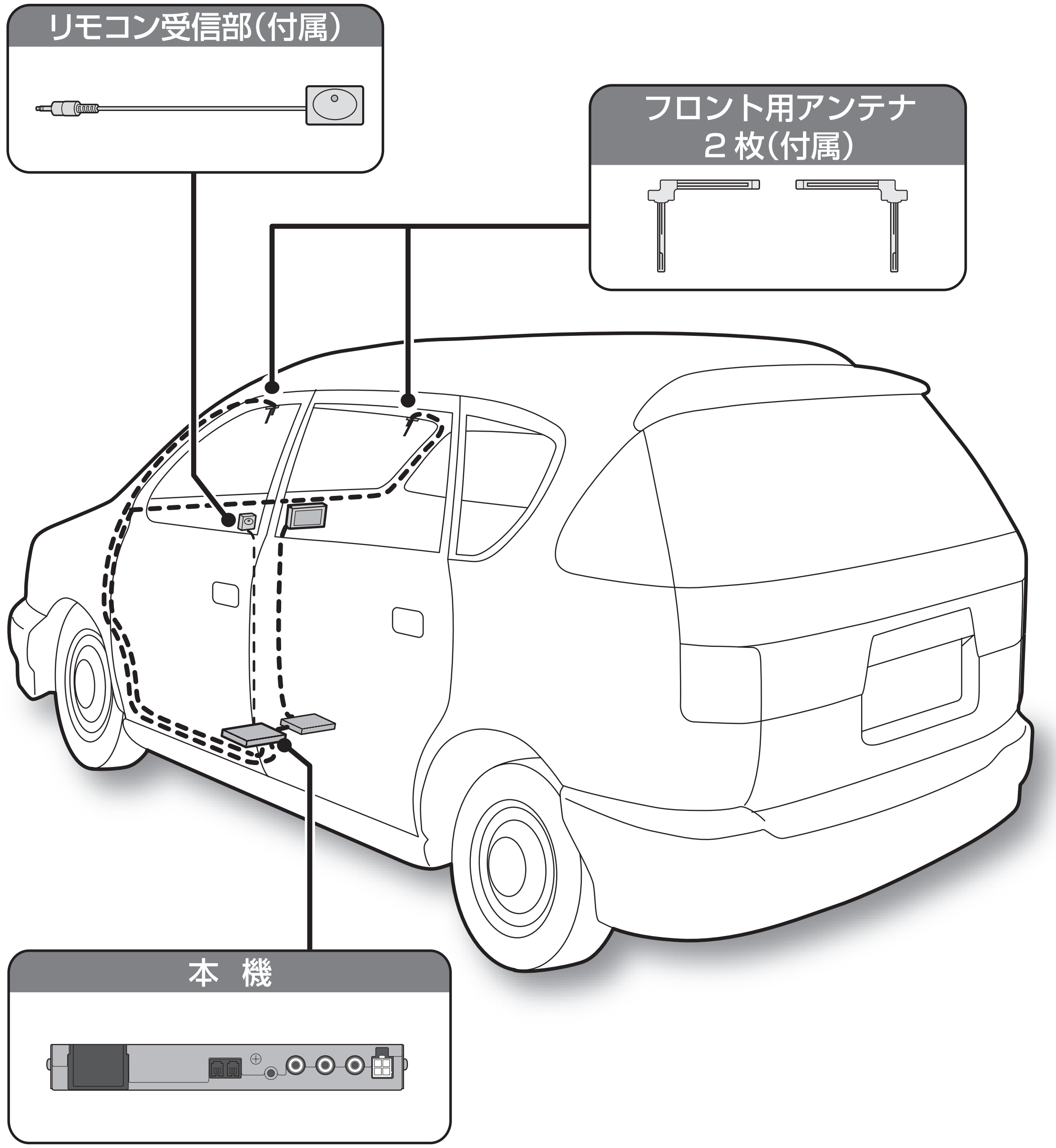
本機の設置と接続

本機をお使いになるには、専用のダイバーシティアンテナを2個所にはり付ける必要があります。



●イラストにある地上デジタルチューナーの設置場所は一例です。
●アンテナのコードは約5 mです。チューナー本体は、コードが届く範囲(前席の下など)で、設置してください。

取り付け・配線の前に

●取り付ける前に内容物をご確認ください。
●取り付けには、一般工具、カッターナイフ、チューナー本体やコードを固定するテープ、布きれなどが必要です。
●ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法があった工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
●別売の機器でシステムアップする場合には、必ず指定品をお使いください。
また、各機器の説明書をよくお読みになり、正しく使用してください。
●作業終了後、確実に取り付け・配線されていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。

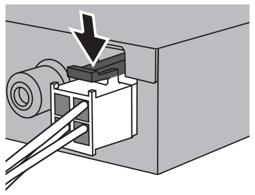
作業の順序

1. バッテリーの ⊖ 端子をはずす
2. 配線する
●他の機器と接続する場合は、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
●ショート事故防止のため、電源コードはその他の配線を完了し接続を確認したあとに配線してください。
3. 取り付ける
4. バッテリーの ⊖ 端子を元に戻す
配線・取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

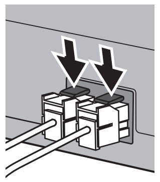
ロック付きコードの取りはずしかた

矢印の方向に押しながら、取りはずしてください。
●無理に引っ張ると、破損することがあります。
●必ず、ロックが解除されていることを確認してから取りはずしてください。
※コード類は運転の邪魔にならないように市販のテープ等でまとめ、チューナー本体を市販の両面テープやマジックテープ等で、必ず固定してください。

・電源コード



・アンテナコード

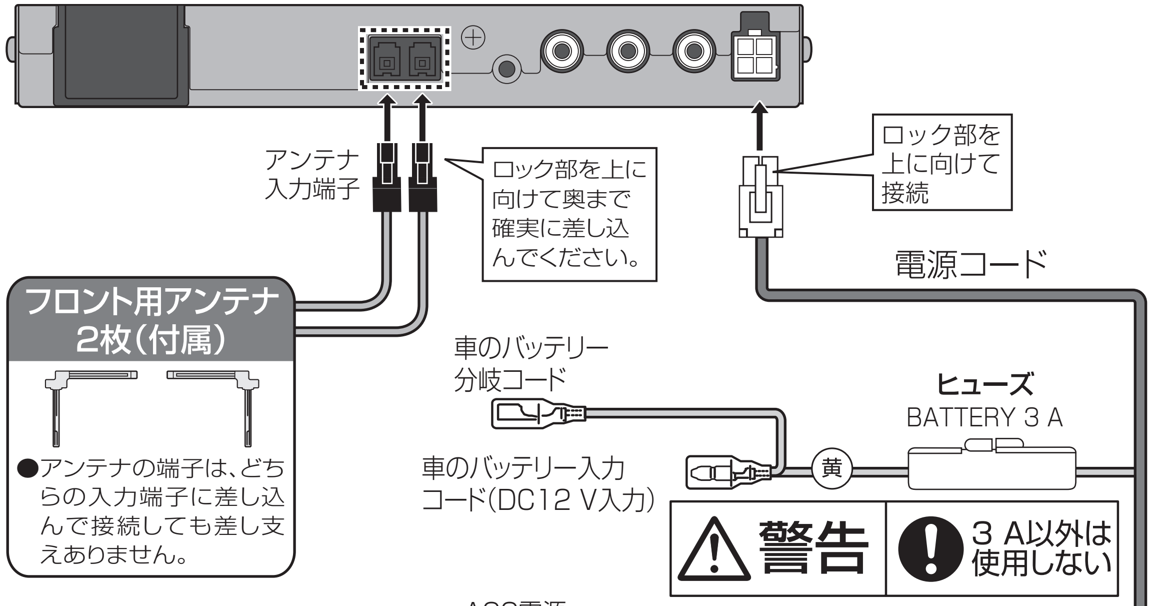


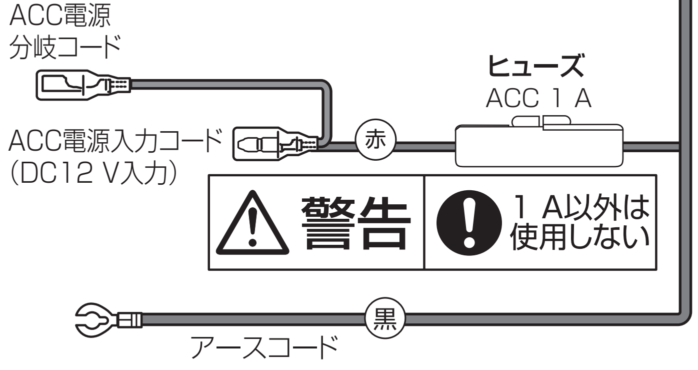
お願い

●本機を設置するときは、通風孔をふさがないように取り付けてください。
●以下のところには、取り付けないでください。故障の原因になります。
・水のかかるところ　・足で踏まれるところ　・ほこりの多いところ
・直射日光のあたるところ　・ヒーターのダクトや発熱する物の近く
・カーペットの下など熱のこもるところ　・本機を逆さまに取り付けしなければならないところ
●リモコン受信部をフロントガラスや保安部品※の動作および確認を妨げる場所に設置しないでください。これらの場所にリモコン受信部を設置すると、保安基準に適合できません。
※バックミラー、計器類、ホーンボタン、エアバックなど。

アンテナ / 電源の接続と配線

接続面





■ACC電源入力コードについて

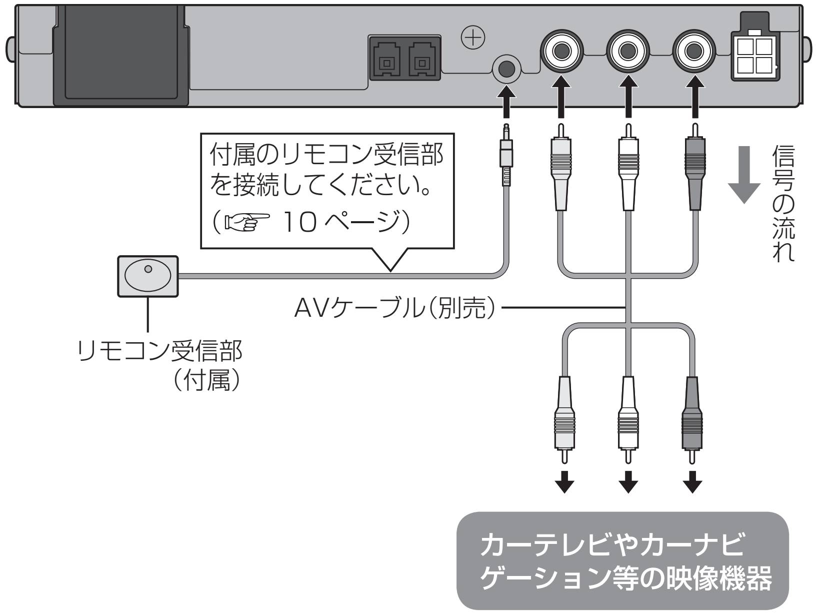
エンジンキーを抜いたとき電源が切れるカーラジオ、シガーライター用電源(+)へ接続してください。
常時電源が入っている個所には接続しないでください。（バッテリー上がりの原因になります。）

お願い

- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にヒューズの交換を依頼してください。
- 電源コードは、その他の配線を完了し接続を確認したあとに配線してください。
- コードは高温・高熱部や金属部との接触を避け、コードクランパーや市販のテープで固定してください。
- ノイズ防止のため、TV・FM多重アンテナのコード、車のラジオアンテナのコード、GPSアンテナのコード、電源コード（付属）はナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。
  また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FMラジオの音声に雑音が入る原因になります。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴すると正常に受像できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とテレビを接続してください。

機器との接続

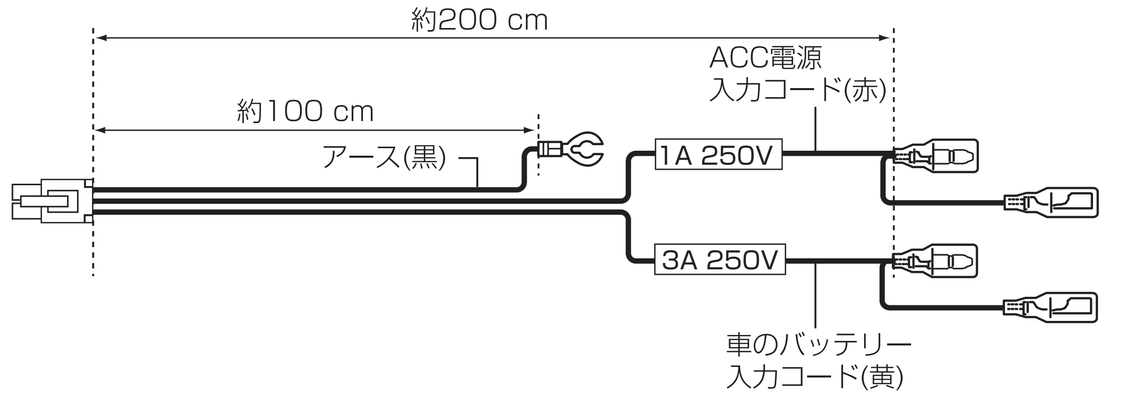
接続面



お願い

- 接続する機器の説明書もよくお読みください。

■電源コードについて



アンテナの取り付けかた

お客様へのお願い

●このアンテナは、パナソニック車載用デジタルチューナー専用です。

●このアンテナはフロントウィンドウはり付け専用です。
フロントウィンドウ以外の場所には、はり付けないでください。

●はり付け・配線をするために、フロントウィンドウ周りの内張り（ピラーカバー・ルーフライニングなど）を一時的に取りはずす必要がありますので、ご了承ください。

●フィルムアンテナ、アンプ、コードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。

●フィルムアンテナを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。
断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。

●ガラスをふくなどするときは、強くこすらないでください。
また、シールやステッカーはがし剤を使わないでください。破損の原因となります。

●車種によって、取り付けられない場合や性能が発揮できない場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

・熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お車をお買い上げの販売店に確認してください。

・ミラーフィルム、蒸着フィルムなどの電波不透過フィルムを施工したガラスの場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。

・エアバッグをピラーに搭載している車両には、取り付けることができません。

はり付ける際の留意点

一度はり付けると、エレメントの素子破損や粘着力が弱くなるため、はり直しできません。アンテナをはる前に必ずコードおよびアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してからはり付けてください。

●必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に正しくはり付けてください。

●サイドガラスやリヤガラスには、はらないでください。十分な受信状態が得られません。

●フロントウィンドウ（内側）の汚れ（ごみ、ほこり、油など）や、くもり止めや水分などをクリーナー（付属）できれいにふき取ってください。
ガラス面が乾かないうちは、はり付けないでください。エレメントがはり付かなくなります。
また、市販の界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。

●エレメントやアンプおよびコードクランパーなど、フィルムやはくり紙などをはがした面には手でふれないでください。また、長時間の放置はしないでください。
汗や汚れまた静電気による故障や接触不良の原因になります。

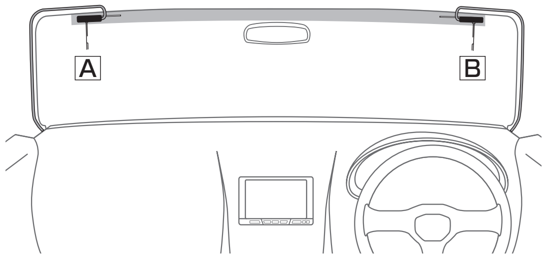
●ガラス面が結露したり気温が低いとき（20 ℃以下）は、はり付かなくなります。
湿度が高いときは、エアコンをオンにして十分に乾かすか、気温が低いときは車内ヒーターやデフロスター、またはドライヤーなどではり付け部分を暖めて、結露しないことを確認してからはり付けてください。

■ 取扱注意 について
本機は、可能な限り破損しにくい設計になっていますが、フィルムアンテナという製品の性質上、やむを得ず十分な強度が得られない個所があります。
本書では、そういった個所を 取扱注意 で示しています。
このマークの個所は、絶対に、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじるなどしないでください。破損の原因になります。

はり付け位置の確認

■はり付ける位置について

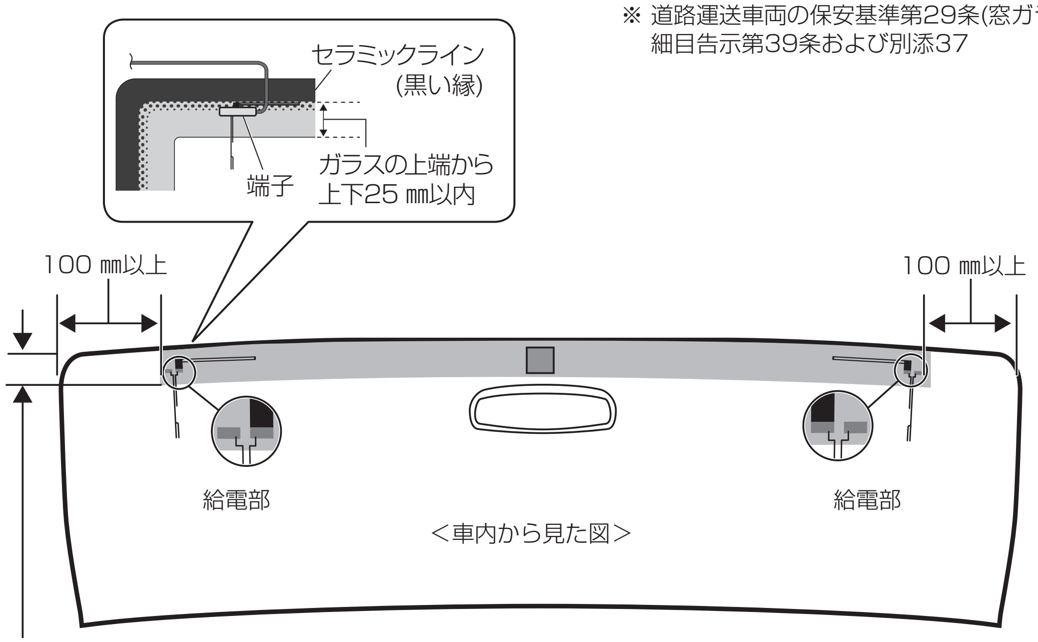
●必ず車室内（フロントガラスの上側）にはり付けてください。サイドガラスやリヤガラスには、はり付けないないでください。
十分な受信状態が得られません。



●性能を十分発揮するために、必ず指定の位置に、正しい向きではり付けてください。

●セラミックラインの上には、できるだけはり付けないでください。車種によって、性能が発揮できない場合があります。

●国土交通省の定める保安基準※に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内（　部）にはり付けてください。
※ 道路運送車両の保安基準第29条（窓ガラス）、細目告示第39条および別添37



給電部をフロントガラス上端から25 mm以内にはり付けてください。

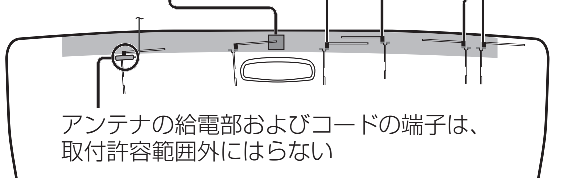
■各アンテナ間の距離

●妨害感度低下を防ぐため、エレメントと他機種のアンテナ間は、最低でも10 cm以上離してはり付けてください。

✕ **下記のようなはり付けは、絶対にしないでください。**

●国土交通省の定める保安基準に適合しない場合があります。

●アンテナの性能を十分に発揮できません。



アンテナの取り付けかた（つづき）

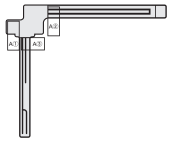
はり付けの準備

フロントガラスへのはり付け位置を決め、はり付け面をクリーナー（付属）できれいにふきとります。（ガラスが乾かないうちははり付けないでください。エレメントがはり付かなくなります。）

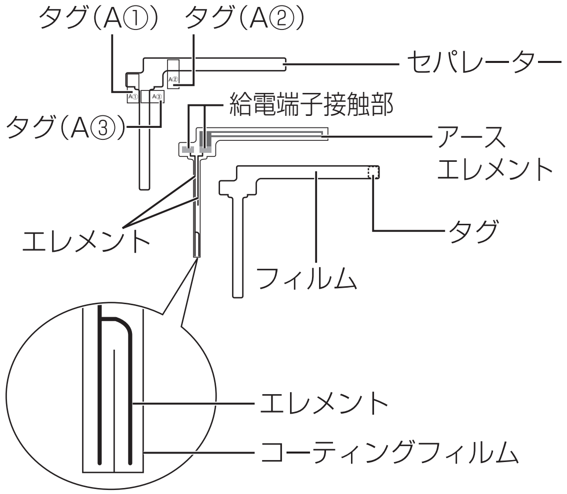
- ●実際の配線を想定して、フィルムアンテナやコード類を市販のテープで仮止めしてエレメントやアンプなどがはり付けられることを確認してください。
  エレメントのはり直しはできませんので、必ず行ってください。
- ●フィルムアンテナはフロントガラス上部にはり付けになります。

■アンテナの構造

- ●フィルムアンテナは、3層構造（下記参照）になっています。



- ●左図はフィルムアンテナ[A]です。
  以降は[A]を例に説明します。
- ●フィルムとセパレーターの間にエレメントが挟まれています。エレメントの広い部分が給電端子接続部です。

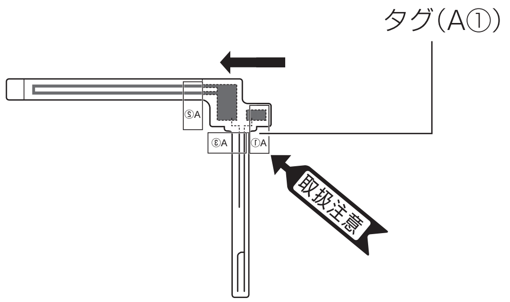


お願い ●フィルムを強く曲げたり、急にはがすとエレメントが断線する恐れがあります。

はり付けかた

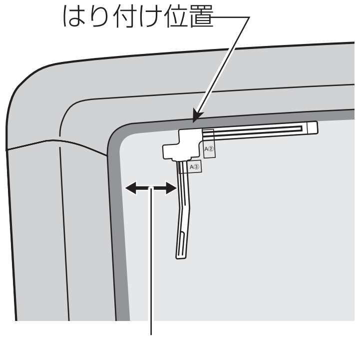
例：フィルムアンテナ[A]

1 タグA①を持ってセパレーターをはがす



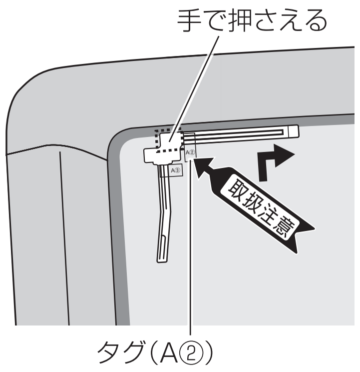
2 はり付け位置のガラス面に密着させる

- ●フィルムアンテナを引っくり返し、フィルムの端面をなるべくガラス面上部のはり付け位置に合わせ、空気が入ったり、しわが寄らないように注意しながらはり付けます。
- ●はり付け後、給電端子部の上を強く押さえてガラスに密着させます。

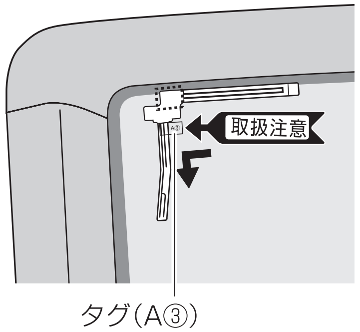


エレメントの横から車の金属部まで100 mm以上離してください。

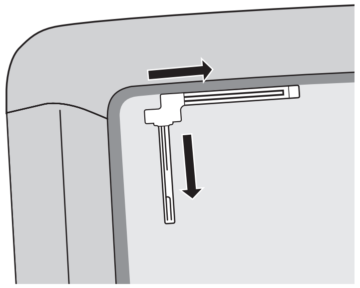
3 タグA②を持ってセパレーターをはがしながら、はり付ける



4 タグA③を持ってセパレーターをはがしながら、はり付ける

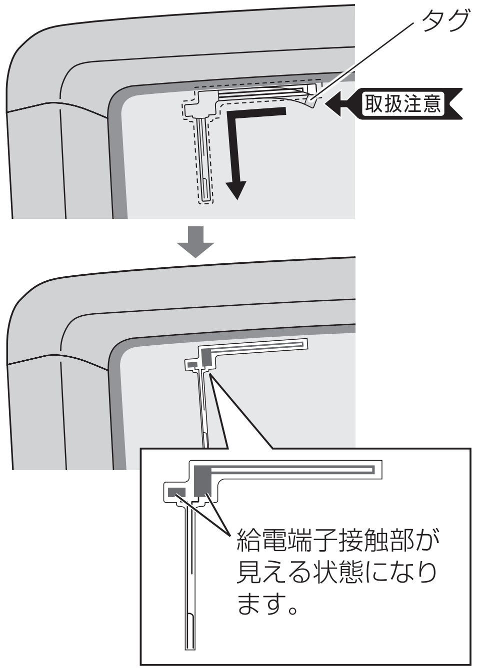


5 指か柔らかい布で矢印方向に強く押えながら、ガラスに密着させる



6 フィルムの端を持ってゆっくりとフィルムをはがす

- ●エレメントがガラス面にはり付いていることを確認しながらはがします。フィルムとともにはがれる場合は、再度フィルムをはり付けてエレメントの上を強く押えてください



エレメントやアースエレメントの周囲は透明なコーティングフィルムが残ります。

お願い

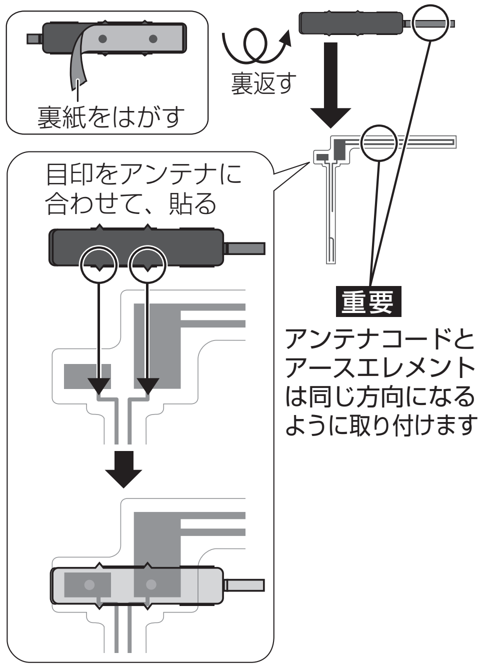
- ●セパレータータグ以外のところからはがしたり、急にはがすとエレメントが断線する恐れがありますので取り扱いにはご注意ください。
- ●糊面に触れないでください。
- ●車外から見て、エレメントがガラスに密着していることを確認してください。
- ●はり付けたエレメントに空気が残っている場合は、その部分の空気を追い出してください。

7 フィルムアンテナ[B]も同様にはり付ける

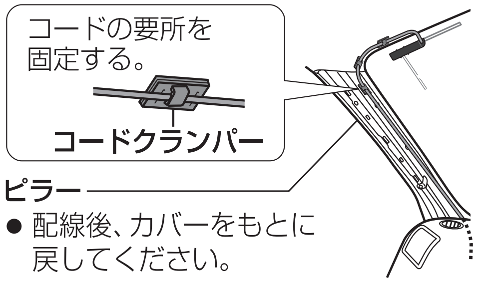
アンテナコードを取り付ける

1 **車の内張り（ピラーのカバー）を取り外す**

2 **アンテナコードの裏紙をはがし、端子をエレメントの給電部にはる**



3 **コードを引き回す**



● 配線後、カバーをもとに戻してください。

4 **他の 1 本も同様に取り付ける**

5 **アンテナコードをチューナーユニットに接続する**

データ放送の番組内で文字を入力する

データ放送の番組で文字入力を行う画面が表示された場合、文字入力欄にカーソルを移動させると、自動的に画面キーボードを表示します。

●**文字を入力しないとき**
リモコンの▲▼◀▶を押して「完了」を選び、「決定」ボタンを押すと元の画面に戻ります。

●本機の画面ではなく、番組独自のキーボードが表示された場合は、データ放送画面の説明に従ってください。

1 **リモコンの▲▼◀▶を押して、入力したい文字の種類を選び、(決定) を押す**

● ひらがなを入力するときは、「かな」を選びます。

2 **リモコンの▲▼◀▶を押して、1文字ずつ選ぶごとに (決定) を押す**

<例：「かな」入力画面>

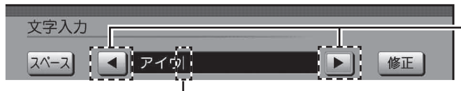
●文字入力のしかた（☞ 43ページ）
●**漢字は入力できません。**

3 **文字入力が終わったら、リモコンの▲▼◀▶を押して、「完了」を選び (決定) を押す**

■各操作ボタンの選びかた

リモコンの▲▼◀▶を押してボタンを選び、(決定) を押す

■カーソルの移動のしかた



カーソル

上記の操作でどちらかを選び、(決定) を押してカーソルを移動させる

● 入力できる字数は、最大40文字までです。
番組によっては、入力したすべての字数を表示できない場合があります。

カタカナ入力のとき

・半角：半角文字を入力できます。
・全角：全角文字を入力できます。
（半角を選ぶと、全角が表示されます。）

数字・記号入力のとき

・半角：半角文字を入力できます。
・全角：全角文字を入力できます。
（半角を選ぶと、全角が表示されます。）

英数字入力のとき

・大文字：大文字を入力できます。
・小文字：小文字を入力できます。
（大文字を選ぶと、小文字が表示されます。）

・半角：半角文字を入力できます。
・全角：全角文字を入力できます。
（半角を選ぶと、全角が表示されます。）

スペースを入力する／文字を削除する

・スペース：スペースが入力されます。
・修正：カーソルの前の1文字が削除されます。